

島勝浦「和具の浜」から魚見小屋を訪ねてみてください

県営海岸環境整備事業島勝地区として、平成 16 年度砂浜海岸を備えて完成した「和具の浜」は、シャワー施設や駐車場も完備しており、帰省した家族連れなど夏季だけで年間 1 万人以上が利用する海水浴スポットとして、利用者の方々から大変好評を頂いています。



このたび、和具の浜駐車場から海に向かって左にある緊急避難用通路に、地元住民の地域活性化グループ「くるくるむっさよい島勝」の会員により、魚見小屋へ続く魚見古道の案内看板が設置されました。

「くるくるむっさよい島勝」では、県の地域活性化事業を活用して三重大学の学生との意見交換を進め、地域資源としての「魚見小屋」に注目。小屋までの道のりを「魚見古道」と名付け、訪れる人が迷わないように手作りの案内看板を設置しました。

「魚見小屋」は、明治 31 年から 50 年程、海を眺め、海面に写る魚影で群れの動きを船に伝えたり、必要な氷の量を港へ伝えるために使われていました。小屋へは片道 5 キロで 45 分程度の道のりです。途中に浅間神社や海食洞門もあり、魚見古道の所々からは絶景が見られます。

今後は、休憩できるようにあずまやの設置も予定されているようです。海水浴だけでなく、その他の季節にも「和具の浜」を是非訪ねてみてください。



和具の浜へは、海山区上里の国道 42 号線から須賀利方面へ県道 734 号線～県道 202 号線を通り、車で約 20 分。最後は少し狭いですが、島勝漁港沿いの道路を進み、和具の浜トンネルを抜けると目の前に砂浜と海が広がっています。